

# 令和7年度 学校自己評価

## 達成及び取組状況アンケート

### 評価基準

適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1

#### (1) 教育理念・目標

|   | 評価項目                                 | 評点  |
|---|--------------------------------------|-----|
| 1 | 本校の理念・目的・育成人材像は定められているか              | 4.4 |
| 2 | 介護福祉士養成校としての特色を出しているか                | 3.8 |
| 3 | 社会・経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を描いているか         | 3.6 |
| 4 | 学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか | 3.6 |

#### ① 課題

- ・1\_理念や目標に向けての取り組みを行えていない。
- ・2\_養成校で学び介護福祉士の資格を取得することと現場で実践しながら実務者研修にて介護の理論を学び介護福祉士の資格を取得することの違いが外部に対して明確にされていない。
- ・4\_十分伝わっていない気がします。

#### ② 改善方法

- ・1\_日々の学習だけでなく、行事などを活かした取り組みを行う。
- ・2\_介護現場からの意見を聴いて、この違いなどを考えて広報する必要がある。
- ・4\_入学前に保護者を含めた新入生オリエンテーションを行い、学校の理念や教育方針、保護者の方にご協力いただきたいこと等を全体に向けて発するといいいのではないかと思います。学校の理念については、教室に掲示し、常に学生に意識させるのもよいのではないかと思います。

#### (2) 学校運営

|   | 評価項目                        | 評点  |
|---|-----------------------------|-----|
| 5 | 学校運営方針は明確に定められ、教職員に明示されているか | 4.0 |
| 6 | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか       | 3.8 |
| 7 | 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか  | 3.6 |

|    |                                  |     |
|----|----------------------------------|-----|
| 8  | 人事・給与に関する制度は、整備されているか            | 3.6 |
| 9  | 介護業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 3.6 |
| 10 | 教育活動に関する情報公開が適切になされているか          | 3.8 |
| 11 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか        | 3.0 |

### ① 課題

- ・ 5\_経営が赤字基調にある
- ・ 11\_非常勤講師のタイムカードは雑務が増える、授業資料等の保管も年度末の回収の手間や紙での保管の場所が必要。

### ② 改善方法

- ・ 11\_PASMO やスイカの登録で出勤退勤管理をするシステムを導入する。  
授業資料等はクラウド上に保管場所を作り、授業資料等は直接データを格納してもらう。  
出席簿などはPDF化してデータで保管する。  
学生の保護者用の掲示版の作成。学校の行事の案内や協力を仰ぎたいことなどを連絡できる

### (3) 教育活動

|    | 評価項目   | 評点  |
|----|--|-----|
| 12 | 教育目標等に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか                           | 4.0 |
| 13 | 教育目標、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4.2 |
| 14 | カリキュラムは体系的に編成されているか                                      | 4.0 |
| 15 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか       | 3.8 |
| 16 | 介護分野における関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか        | 4.4 |
| 17 | 介護分野における施設実習が体系的に位置づけられているか                              | 4.0 |
| 18 | 授業評価の実施・評価体制はあるか   | 4.2 |
| 19 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                           | 4.4 |
| 20 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                     | 3.6 |
| 21 | 人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか                  | 4.2 |
| 22 | 介護分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか            | 4.0 |

|    |   |     |
|----|---|-----|
| 23 | 介護分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか | 3.2 |
| 24 | 教員の能力開発のための研修等が行われているか                                      | 3.2 |

#### ① 課題

- ・家計状況や精神的なことで問題を抱えている学生が増えている。
- ・留学生の人数も増えているので、教員の負担が大きい。
- ・14\_カリキュラムが体系化できていない
- ・14\_カリキュラムについては、長い間見直していない。そのため、再度の見直し及び教育の成果を確認する必要がある。
- ・20\_留学生が増加する中で、留学生への資格取得体制が少し不足。
- ・21\_研修会に参加する機会が少ない。養協主催のみ。
- ・24\_機会が少ない。

#### ② 改善方法

- ・書類の作成など、電子化や効率化できることは進めていく。学生対応など時間を省けないことは仕方ないと思うが、その他の部分で効率化していき、教員の負担を減らしていければ良いと思う。
- ・14\_令和8年度中にカリキュラム体系を見直し、令和9年度開始予定。
- ・14\_令和9年度を目指してカリキュラムの見直しを実施している。
- ・20\_今年度は日本語授業を休まない体制をつくる。週1回の日本語教室では十分とはいえないと思う。週2回に増やす方向でいけないか。日本語の会話能力をあげるため、同じ国の子たちだけで固まらないように、日本人学生との日常的な交流を増やす。
- ・21\_民間でおこなわれている研修等に参加できる機会をつくる。
- ・24\_短大や高校も合同で、「教える力」を向上させるような講演会を年数回程度、外部講師を招いて受講する。  
学生も参加させるとよいのではないか。

#### (4) 学修成果

| 評価項目 |  | 評点  |
|------|--|-----|
| 25   | 高い就職率が維持されているか                         | 4.6 |
| 26   | 卒業試験、各種資格試験取得率の向上が図られているか              | 4.4 |
| 27   | 退学率の低減が図られているか                         | 4.0 |
| 28   | 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか             | 3.8 |
| 29   | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか | 3.6 |

① 課題

- ・ 26\_国家試験の合格率が改善していない。
- ・ 29\_卒業生の進路の把握などをしていない。

② 改善方法

- ・ 26\_国家試験対策の見直し
- ・ 29\_昨年度から実施しているがなかなか成果があがらない。

(5) 学生支援

|    | 評価項目                                   | 評点  |
|----|--|-----|
| 30 | 進路・就職に関する支援体制は、整備されているか                | 4.0 |
| 31 | 学生相談に関する体制は、整備されているか                   | 3.8 |
| 32 | 学生に対する経済的な支援体制は、整備されているか               | 4.2 |
| 33 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか                     | 3.6 |
| 34 | 課外活動に対する支援体制は、整備されているか                 | 3.6 |
| 35 | 保護者と適切に連携しているか                         | 3.6 |
| 36 | 卒業生への支援体制はあるか                          | 3.4 |
| 37 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか              | 3.4 |
| 38 | 高校・高等専修学校との連携によるキャリア・職業教育の取り組みが行われているか | 3.2 |

① 課題

- ・ 37\_社会人のニーズを踏まえた教育環境
- ・ 36\_卒業生への支援体制が整っていない
- ・ 35\_保護者との連携はあまりないように感じる。
- ・ 37\_専門学校は「社会人育成の場」でもあると思うが、卒業までにそのスキルが身につけていない学生が多い。挨拶・時間管理・報連相などきちんとできている学生が少ない。
- ・ 38\_そのような企画が少ないのではないか。

② 改善方法

- ・ 37\_2~3 限までの授業時間割を検討
- ・ 36\_国家試験対策や再就職支援などを検討する。
- ・ 35\_入学前に保護者が集まる機会を設ける。入学後に保護者へのあいさつの電話かけを行う等。欠席や遅刻が続く学生の保護者には早めに連絡を入れておく。  
上記(2)の改善方法にあげた保護者用掲示板の活用。

- ・ 37\_短大や高校と合同で、社会人として身に着けるべきスキルについて研修の機会の場を設ける。挨拶運動を奨励する。HR 等で「おはようございます」と挨拶の習慣づけを行う。

## (6) 教育環境

| 評価項目 |                                   | 評点  |
|------|-----------------------------------|-----|
| 39   | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか  | 3.0 |
| 40   | 学外研修、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか | 3.8 |
| 41   | 防災に対する体制は、整備されているか                | 3.8 |

### ① 課題

- ・ 39\_設備が古く老朽化が進んでいる。また機器に故障が頻発している。
- ・ 39\_生産性向上関係の福祉用具が整っていない。
- ・ 39\_施設の老朽化が目立つ。スクリーンやプロジェクターの位置関係で、板書との併用が不便。スクリーンが小さく後部座席の学生には見にくい。

### ② 改善方法

- ・ 39\_予質がつくものから修繕を行う。
- ・ 39\_福祉用具の見学などで補う。
- ・ 39\_大がかりな整備は費用がかさむので、黒板をホワイトボードに変更したらいいのではないか。

## (7) 学生の受け入れ募集

| 評価項目 |                                      | 評点  |
|------|--------------------------------------|-----|
| 42   | 学生募集活動は、適正に行われているか                   | 4.4 |
| 43   | 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 4.2 |
| 44   | 学納金は、妥当なものとなっているか                    | 4.2 |

### ① 課題

- ・ 42\_学生募集についての数値化、可視化が行われていない。

### ② 改善方法

- ・ 42\_ガイダンス訪問先、模擬授業訪問先と実際の入学者数の因果関係を可視化する。

## (8) 財務

|    | 評価項目                      | 評点  |
|----|---------------------------|-----|
| 45 | 中・長期的に学校の財務は、安定していると言えるか  | 2.2 |
| 46 | 予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか | 3.0 |
| 47 | 財務について、会計監査が適正に行われているか    | 4.0 |
| 48 | 財務情報公開の体制整備はできているか        | 3.8 |

### ① 課題

- ・ 45\_ 学生数が集まらない。定員割れを起こしているため、安定的な収入が見込めない。
- ・ 46\_ 手話や日赤講習会等の任意特別授業が講師料を考えると赤字事業になっている。

### ③ 改善方法

- ・ 45\_ 奨学金制度の周知で経済的な理由で進学を諦めないようにガイダンス等で勧めていきたい。介護について良いイメージ（収入や働き方など）をガイダンスで周知する。
- ・ 46\_ 受講料を現在の 500 円より少し値上げをする。講師料の安い講師に願する。

## (9) 法令等の遵守

|    | 評価項目                          | 評点  |
|----|-------------------------------|-----|
| 49 | 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4.2 |
| 50 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか    | 5.0 |
| 51 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか         | 4.5 |
| 52 | 自己評価結果を公開しているか                | 5.0 |

### ① 課題

- ・ 51, 52\_ 授業アンケート結果は返されたが、学校全体評価として反映されていない。

### ① 改善方法

- ・ 51, 52\_ 卒業生に対して、学校生活アンケートを別途とって、毎年比較していけば改善すべき点も見えやすいのではないかと。

## (10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 |                                 | 評点  |
|------|---------------------------------|-----|
| 53   | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3.8 |
| 54   | 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか          | 4.0 |
| 55   | 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか | 3.4 |

### ① 課題

- ・ 55\_公開講座は地域住民との接点ということでは良かったのではないか
- ・ 54\_毎年決められたボランティア活動は継続できているが、学生主体の新規のものが少ない。

### ② 改善方法

- ・ 55\_公開講座の再開を検討する
- ・ 54\_ボランティアサークルを作り、施設の夏祭りや敬老会などに積極的に参加。施設慰問（たとえば楽器や歌が得意な学生で慰問チームを結成する）